

北海道浮魚ニュース

平成26(2014)年度15号

2014年 9月12日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部
釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/shigen/ukiuo/uki_index.htm

◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸（釧路水産試験場調査船）によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間

2014年 9月3日～9月11日

調査海域および調査点

道東～三陸沖合太平洋海域（北緯41度00分～42度40分、東経143度10分～146度00分：親潮系冷水域および黒潮系暖水域）における8調査点（図1）。

調査方法

10種類の目合（22・25mm：30間切り各1反、29・37mm：30間切り各4反、48mm：60間切り2反、55・63・72・82mm：60間切り各1反、182mm：60間切り15反）の流し網を用いた漁獲試験。

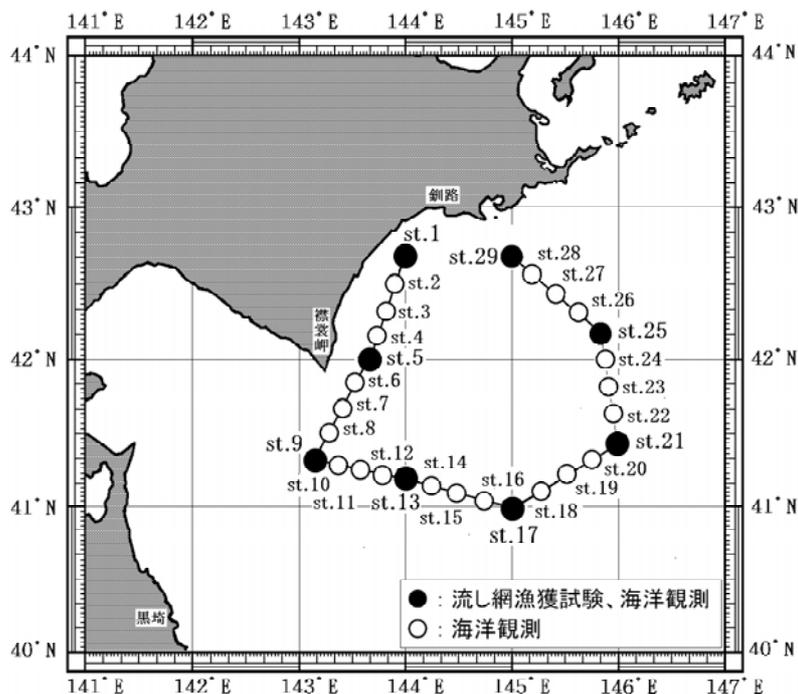


図1 漁獲試験調査点

調査結果

①漁獲試験を行った8調査点の表面水温は17.1～21.9℃（前年：19.1～20.9℃）、50m層水温は3.5～18.0℃（前年：3.5～10.4℃）、100m層水温は1.9～7.1℃（前年：1.8～6.3℃）でした（表1）。

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	5	9	13	17	21	25	29	合計
表面水温(°C)	20.7	20.6	21.9	21.6	21.2	21.6	21.3	17.1	
50m水温(°C)	9.2	4.8	18.0	3.5	6.4	13.0	9.7	7.9	
100m水温(°C)	1.9	3.7	6.8	2.3	3.3	7.1	4.5	3.2	
サバ類	247	64	66	80	199	27	27	378	1,088
マイワシ	698	1	0	0	0	7	3	396	1,105
カタクチイワシ	0	0	0	0	0	6	0	0	6
サンマ	1	2	3	1	1	4	2	28	42
スルメイカ	17	0	36	9	14	0	0	79	155
アカイカ	0	142	73	108	110	7	58	3	501

②調査点別の魚種別漁獲尾数（表 1）および流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図 2、4、6、8）ならびに漁獲試験で採集された漁獲物の大きさ（図 3、5、7、9）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

8 調査点で 27 ～ 378 尾、合計 1,088 尾漁獲されました(表 1)。

CPUE は 136.0 尾/回で、前年の 139.3 尾/回を下回りました(図 2)。

全国の資源評価によれば、マサバの資源水準は中位で資源動向は増加傾向にあり、ゴマサバは高位で増加傾向にあるものと考えられています。

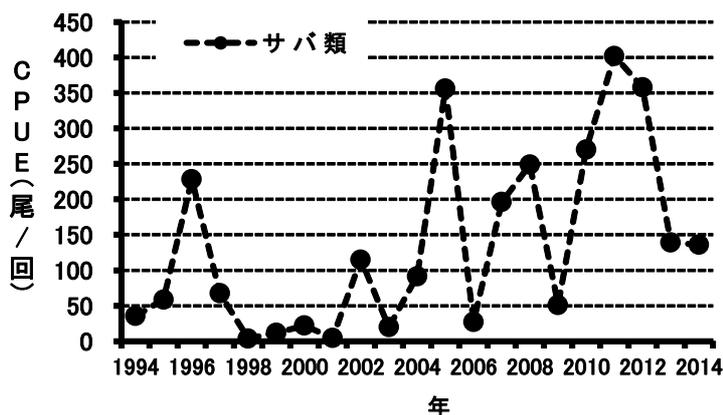


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サバ類)

魚体は尾叉長 21 ～ 38cm 台で、モードは 25cm 台にみられ (図 3)、前年 (主体 : 30 ～ 34cm 台) より小型の割合が多く見られました。

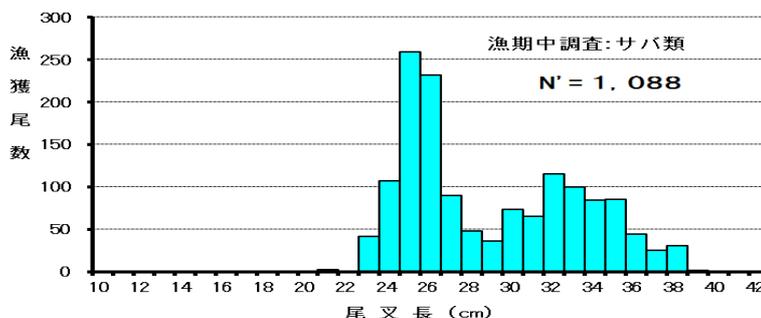


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

5 調査点で 1 ～ 698 尾、合計 1,105 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 138.1 尾／回で、前年の 65.0 尾／回を上回り、1994 年以降では 2 番目に高い値を示しました (図 4)。

全国の資源評価によれば、資源水準は中位で資源動向は増加傾向と考えられています。

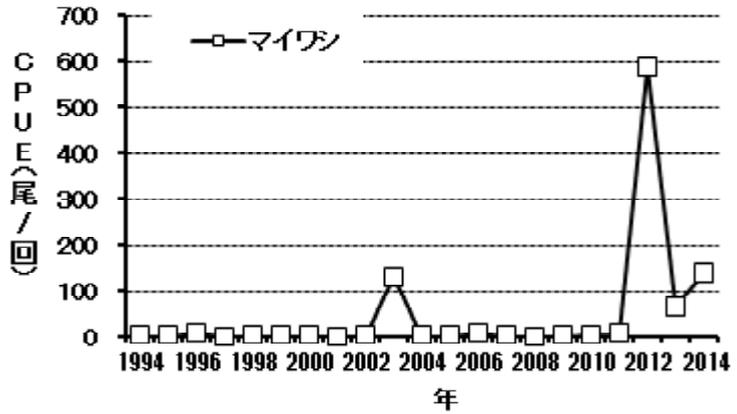


図4 調査1回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (マイワシ)

魚体は体長 12.5 ～ 22.9cm 台で、13.5cm 台、18.5cm 台、20.0cm 台に尾数の多い群がみられ (図 5)、前年 (主体：20.0cm 台) より小型群が多く見られました。

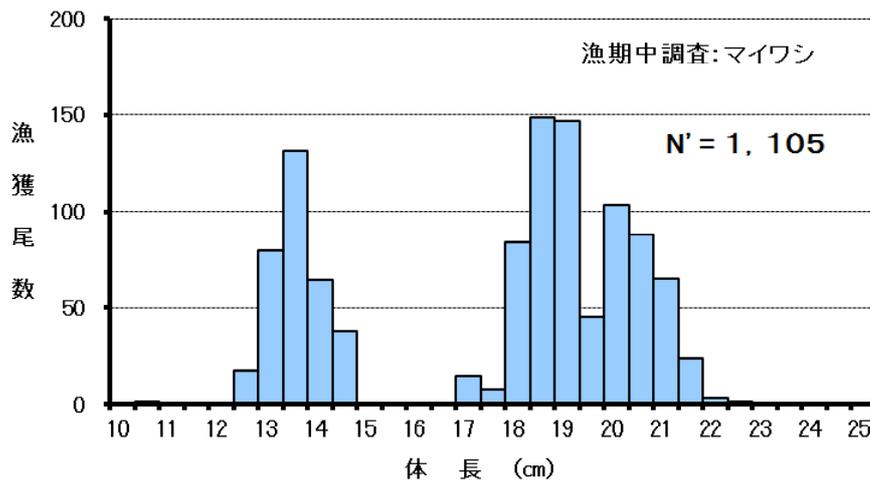


図5 マイワシの漁獲物体長組成

・カタクチイワシ

1 調査点で 6 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 0.8 尾／回で、前年の 0.3 尾／回を上回りました (図 6)。

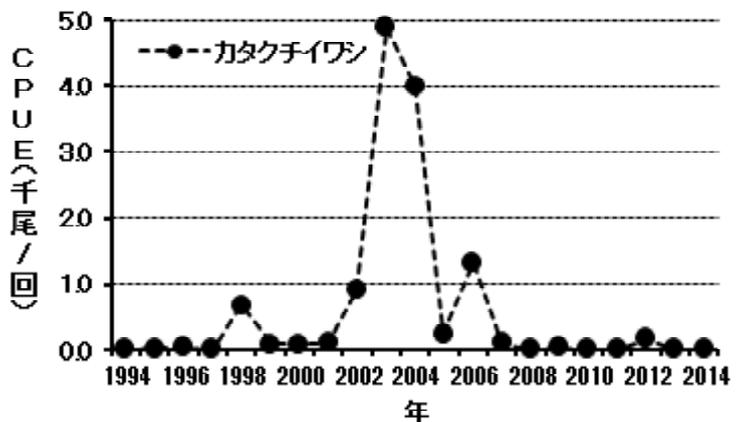


図6 調査1回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (カタクチイワシ)

魚体は体長 11.0 ～ 12.0cm 台と 13.5cm 台（前年 12.0 ～ 14.5cm 台）でした（図 7）。

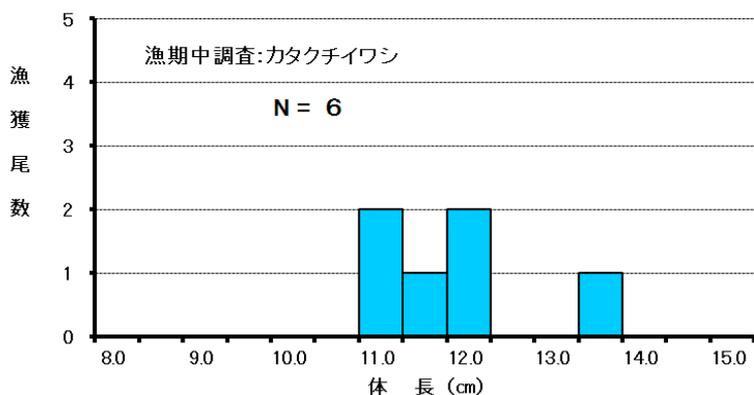


図7 カタクチイワシの漁獲物体長組成

・サンマ

8 調査点で 1 ～ 28 尾、合計 42 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 5.3 尾／回で、前年の 6.3 尾／回を下回りました（図 8）。

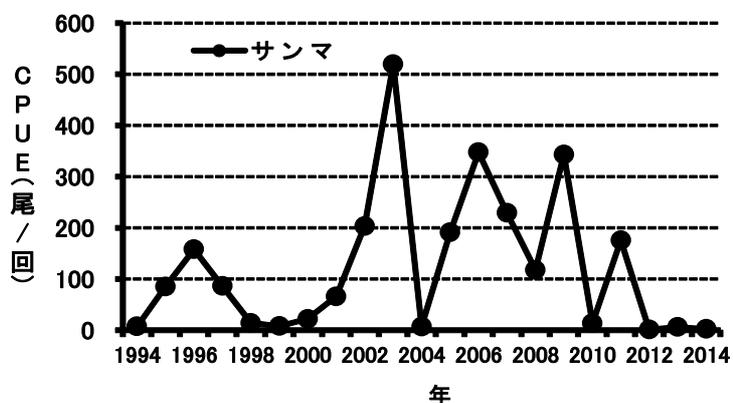


図8 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サンマ)

魚体は肉体長 20.0cm 台、23.0 ～ 26.0cm 台、28.0 ～ 31.0cm 台が漁獲され、28.0 ～ 31.0cm 台（前年：30 ～ 33cm 台）の個体が主体（図 9）でした。

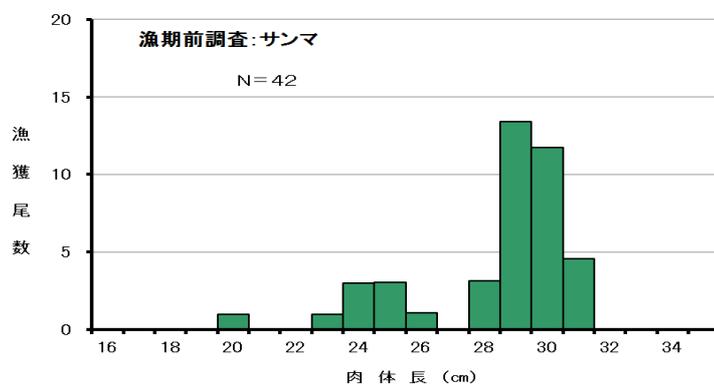


図9 サンマの漁獲物肉体長組成

(道総研 水産研究本部 釧路水産試験場 調査研究部、
直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225)